

世界史 B

1 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

紀元前1世紀のローマでは、暗殺されたカエサルの養子オクタウィアヌスが、カエサルの部下であるアントニウスやレピドゥスと協力して政治をおこなった。やがて、オクタウィアヌスはプトレマイオス朝エジプトの女王クレオパトラと結んだアントニウスを前31年（ 1 ）の海戦で破り、翌年プトレマイオス朝が滅亡して地中海世界が統一された。

その後の2世紀は「ローマの平和」と呼ばれる繁栄期を迎えた。ネルウァ帝に始まる（ 2 ）の時代は帝国の最盛期と呼ばれ、その支配地はメソポタミアからブリタニアにまで広がった。（ 3 ）権はカラカラ帝の時に国内の全自由民に与えられた。

3世紀になると、軍人出身の皇帝が次々に登場し、属州での反乱や、ササン朝ペルシアやゲルマン人の侵入が繰り返され、社会不安が高まった。この混乱を治めたのが284年に即位した（ 4 ）帝である。彼は、2人の正帝と2人の副帝からなる帝国の四帝分治制（四分統治制）をしき、皇帝の宗教的権威を高めるなど、強力な皇帝権の下での改革をおこなった。（ 4 ）帝の政策を引き継いだコンスタンティヌス帝は官僚制を整備し、軍事改革を進めた。また、313年には帝国内に広がるキリスト教を（ 5 ）により公認した。しかしこうした改革にもかかわらず、帝国の動揺は収まらず、（ 6 ）帝の死後、帝国は東西に分割された。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、この人物が前27年に元老院から与えられた称号を何と呼ぶか、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、この体制を何と呼ぶか。次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 元首政 イ. 第1回三頭政治 ウ. 第2回三頭政治 エ. 専制君主政

問4 下線部(c)に関連して、この頃のローマの文化を説明した文として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 都市が帝国の各地に建設され、市街地には浴場が配置された。

イ. 都市にはコロッセウムが建設され、オペラが上演された。

ウ. ウェルギリウスが建国叙事詩『ローマ建国史』を著した。

エ. アウグスティヌスは『自省録』を著して、信仰を説いた。

問5 下線部(d)に関連して、この国の国教とされた宗教は何か。次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. イスラーム教 イ. ゴロアスター教 ウ. マニ教 エ. ユダヤ教

問6 下線部(e)に関連して、この頃のローマ帝国内では小作制による農業が広がっていたが、その小作人のことを何と呼んだか、答えよ。

問7 下線部(f)に関連して, 以下の文を読み, 文中の空欄 (A) ~ (D) にあてはまる語句を答えよ。

325年, コンスタンティヌス帝は (A) を開催し, 神としてのイエスを認める (B) 派の説を正統教義とみなし, 人間としてのイエスを唱える (C) 派の説を異端とした。(B) 派の説はやがて神とイエスと聖霊とを同一とする (D) 説として確立された。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

(1) 大学神学教授であったマルティン＝ルターは、1517年に贖宥状（免罪符）の販売を批判する (2) を提起した。これが、いわゆる宗教改革と呼ばれる動きのはじまりである。ルターは、「人は信仰のみによって救われる」とし、教皇レオ10世が認めていた贖宥状の販売を批判した。ルターの考えは、活版印刷や版画などによって各地に広まり、大きな影響を与えた。ルターは教皇に破門された後、神聖ローマ皇帝 (3) によってヴォルムス帝国議会によびだされ、自説の撤回を要求された。ルターはこれを拒否したため、皇帝と政治的に対立していた (4) の居城ヴァルトブルク城にかくまわれ、そこで『新約聖書』のドイツ語訳を完成させることになる。

1524年には、ルターの考えに触発された西南ドイツの農民が、農奴制の廃止などを要求してドイツ農民戦争をおこした。ルターは当初、農民の運動を支持したが、反乱が社会変革を要求するようになると、現世における秩序の維持を重視する立場から、諸侯に鎮圧を呼びかけた。結局、この反乱は諸侯側に鎮圧されることになり、以後のドイツ宗教改革は、領邦君主である諸侯と結びついて進展してゆくことになる。

この間皇帝は、フランス国王フランソワ1世との (5) 戦争や、オスマン帝国の脅威に対処するため、一時ルター派を認めてドイツ諸侯の協力を得ようとした。しかし危機が遠ざかると、ふたたびルター派の信仰を禁止した。ルター派の諸侯や都市はこれに抗議したため、プロテスタントと呼ばれた。彼らは (6) を結成し、皇帝と争った。1555年に (7) の和議で妥協が成立し、ルター派の諸侯には信仰の保持が認められたが、個人の信仰の自由やカルヴァン派は認められなかった。

ルターにつづいて、スイスの (8) でもツヴィングリが贖宥状の販売を批判して、改革にのりだした。ツヴィングリはカトリック諸州との戦いで戦死したが、フランス人のカルヴァンが (9) に招かれ、改革運動をはじめた。カルヴァンは、司教制を廃止して牧師と信者代表が教会の信仰指導・管理・運営にあたる (10) を導入した。また人が救われるか否かはあらかじめ神の意志によって定められていると唱え、人は神の救いを信じて神の掟を守り、勤勉と禁欲に努めるべきであると説いた。

問1 文中の空欄 (1) ～ (10) に当てはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、15世紀半ばに鋳型鋳造の金属活字を使用する印刷技術を開発した人物は誰か、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、農奴解放や共有社会の実現などの急進的な改革を唱え、この戦争を指導した人物は誰か、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、1529年にウィーンを包囲・攻撃したオスマン帝国のスルタンは誰か、答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、カルヴァンの著作として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア.『キリスト者の自由』 イ.『キリスト教綱要』 ウ.『神の国』 エ.『神学大全』

問6 下線部(e)に関連して、このような教説を何というか、答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

清は、康熙・雍正・乾隆の3代の皇帝の時代に最盛期を迎えた。康熙帝（聖祖）は、雲南の藩王となつ^(a)ていた呉三桂などが雲南・広東・福建で起こした反乱を鎮圧した。また、1661年以來、台湾において清朝に抵抗を続けた（ 1 ）政権を83年に降伏させて、台湾は清の版図に加えられた。一方、康熙帝は、黒竜江（アムール川）沿いに南進していたロシアと戦い、1689年に同国とネルチンスク条約を結び、アルグン川とスタノヴォイ山脈を国境と定めた。さらに、自ら軍を率いてモンゴル方面に遠征し、（ 2 ）を破り、外モンゴルを支配した。

次いで、雍正帝は1727年、ロシアと（ 3 ）条約を結び、外モンゴルでの清露間の国境を定めた。また、（ 2 ）との戦いに際し、迅速な連絡・指揮系統を維持するために中央に（ 4 ）を設け、以後これが政治の最高決定機関となっていく。そして、乾隆帝は（ 2 ）を滅ぼし、東トルキスタン地域を征服して、この地を「新しい領域」を意味する（ 5 ）と名付けた。ここに清の最大版図が形成された。

清朝はその広大な領土をすべて直接統治したわけではない。直轄地とされたのは、中国内地・東北地方・台湾であり、モンゴル・青海・チベット・（ 5 ）は藩部として（ 6 ）に統轄された。すなわち、藩部においては、中央から監督官は派遣されるものの、現地の支配者が存続する^(c)という、間接統治が採られた。他方、乾隆帝の時代、ヨーロッパとの貿易は制限され、1757年、広州港の（ 7 ）と呼ばれる特許商人組合を介した貿易のみが許可された。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 7 ）にあてはまる語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、この反乱の名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、この条約が結ばれた当時のロシアの皇帝は誰か、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、チベットでは黄帽派チベット仏教の最高指導者の称号を持つ者が支配者となったが、その称号の名称を答えよ。

4

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

19世紀前半、ヨーロッパ人のアフリカに関する知識は、北部とインド航路の港などアフリカ沿岸部に限られていたが、同世紀半ば以降、探検家たちが中央アフリカを探検して事情を伝えるようになると、列強はこの地域に関心を示すようになる。1880年初め、(1) 地域をめぐるヨーロッパ諸国の対立が起こると、ドイツの宰相 (2) は1884～85年にベルリン会議を開き、ベルギー国王の所有地として (1) 自由国の設立を認め、さらにアフリカの植民地化の原則を定めた。以後、「アフリカ分割」と呼ばれる状況が急速に進み、20世紀初めには一部の例外を除いて大陸全土が植民地化された。

分割を主導したのは、アフリカに早くから関心を持っていたイギリスとフランスであった。イギリスは1880年代初め、ヨーロッパ列強による内政干渉に反対する (3) 運動を武力で制圧してエジプトを事実上の保護下に置き、さらにスーダンに侵入した。スーダンでは、ムハンマド＝アフマドが率いる (4) 派が抵抗してイギリス軍の侵入を一時阻止したが、98年に征服された。一方、フランスが、アルジェリアからサハラ砂漠を経て、紅海の出口ジブチを連結するアフリカ横断政策をとったため、エジプトとケープ植民地を結ぶイギリスのアフリカ縦断政策と競合する事態が生じ、軍事衝突寸前の危機となった。

アフリカ南部では、イギリスが、帝国主義者の実業家で一時ケープ植民地の首相も務めていた (5) の画策のもと、1899年に南アフリカ戦争（ブール戦争）をしかけ、ダイヤモンドや金を豊富に産出するオランダ系ブール人の (6) 自由国とトランスヴァール共和国を強引に併合した。この戦争の結果、1910年に南アフリカ連邦が成立した。

問1 文中の空欄 (1) ～ (6) にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、イギリス出身のアメリカの新聞記者・探検家で、自らのアフリカ探検の記録を著して文明が遅れ停滞したアフリカのイメージを広めた人物を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. リヴィングストン イ. アムンゼン ウ. スタンリー エ. ピアリ

問3 下線部(b)に関連して、アメリカから解放奴隷が入植して、1847年に共和国として独立した国を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. エチオピア イ. セネガル ウ. アンゴラ エ. リベリア

問4 下線部(c)に関連して、1898年にスーダンで交錯した英仏両軍が対峙し、戦争の危機が生じた事件の名称を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、同連邦ではアフリカ人は土地取得をはじめ様々な差別待遇を受け、その種の人種差別政策は第二次世界大戦後に強化された。その政策の名称を答えよ。